



頼母山

目指す生徒像

自主・敬愛・健康

自ら学び続ける生徒
豊かな心をもつ生徒
心身をきたえる生徒

令和2年度

第15号

3月24日発行

文責：小松

電話：0224-53-1369

E-mail: kinchu@

ogawara-k.miyagi.jp



第74回卒業式を挙行了しました

34名が金ヶ瀬中学校から巣立ちました



3月6日(土)、保護者の皆様に御列席いただき、令和2年度第74回卒業式を厳粛な雰囲気の中、挙行することができました。

新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小した形となりましたが、校長先生より卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。凛々しい姿で証書を受け取る姿に、これからの前途に固い決意と大きな夢を描いているように感じました。

式辞

(抜粋) 頼母山も春の支度が整い、堤地区の紅梅がふくよかに香っています。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。証書を受け取る姿に、新しい世界に飛び立つ喜びと、新しいことに挑戦しようとする希望が感じられ、大変うれしく思いました。

さて、金ヶ瀬中学校での生活はどんな時間だったのでしょうか。先生方との毎日の授業。中総体や新人戦を目標に練習に励んだ部活動。金中祭や職場体験などの多くの行事や体験活動。

今年度は、コロナ禍の学校生活でした。臨時休業から始まり、三密を避け、徹底した感染症予防に努めました。そのため、皆さんは窮屈な思いと我慢をしました。自分でもよく分からない不安やいらだちとの葛藤の日々もあったように感じます。

そのような中、皆さんが「これで中学校生活を終わらせられない」と言わんばかりに、底力を見せたのは金中祭でした。知恵とアイデアを結集し、後輩を引っ張り、テーマどおり「超金中祭」を全力で創り上げました。その勢いと団結力には、ただただ驚くばかりでした。本当にすばしかったです。確かな目標があり、仲間がいたから大成功できたのだと私は思います。

卒業にあたり、巣立っていく皆さんにメッセージを送りたいと思います。まず、皆さんとの一番の思い出です。それは修学旅行の移動のバスの中のことです。映画「スタンドバイミー ドラえもん」を一緒に見ました。最初は「中学三年生でドラえもん？」と正直思いました。しかし、その内容は奥が深く、愛と夢と幸せについて、考えさせられる場面が、至る所にちりばめられていました。私は、どんどんと引き込まれていきました。

ふと、のび太君と登場人物の関係や生活環境が、皆さんとよく似ていると思いました。皆さんには、失敗してもケンカしても、最後は受け入れてくれる温かな友だちや学級があります。時には厳しく叱咤激励もあるけれど、無償の愛で支えてくれる家族や先生方がいます。だから、挑戦することや心を休めることができました。まさにのび太君と同じです。また、のび太君はカッコいいんです。『思い立ったら即実行。失敗したら再チャレンジするだけ。「なにくそ」と反骨精神をもっている。誰に対しても分け隔てなく接する。他の人のいい面を素直に肯定する。』等々。それ故、のび太君はみんなに愛され、支えられているのだと思います。まさに皆さんと同じです。

今は、感染症や自然災害等で、その先が不透明で不安定な状況が続いていますが、皆さんはカッコいい今のままでいてください。卒業し新しい環境におかれても、今のままでいてください。背伸びをすることなく、道ばたの小さな花に目をやる余裕をもって、ゆっくり、一步一步歩んでください。

お子様は、義務教育九カ年を修了し、青年へと歩み始めます。その歩みが力強いものになりますよう、引き続き、温かく見守り、励まし、支えていただきたいと思います。私も教職員一同、お子様のご成長とご活躍を心から願っております。

名残は尽きませんが、卒業生の限りない前途を祝しますとともに、ご列席くださいました皆様のご健勝をお祈り申し上げ、式辞といたします。

大河原町立金ヶ瀬中学校 校長 大内 恵美

送辞

(抜粋) 金ヶ瀬中学校を卒業される三年生、三十四名の先輩方、ご卒業おめでとうございます。

二年前、初めて校門をくぐった私たちは、緊張と不安でいっぱいでした。先輩方はそんな私たちに、優しく、温かく接してくださいました。部活動では技術面の他、挨拶の仕方など、いろいろなことを親切に教えてくださいました。

私たちに自信を、そして挑むことへの勇気を与えてくださった先輩方。感謝の気持ちを言葉に表そうとしても表しきれません。私たちに常に寄り添い、話しかけてくれたこと、苦しい時や辛い時には真剣に励ましてくれたこと、その全てが私の憧れでした。そして、そんな先輩方が大好きでした。先輩方が残してくださったものは、私たちがしっかりと受け継ぎます。先輩方も、新しい環境で新しい多くのことに挑戦し、輝き続けてください。

最後に、在校生一同、先輩方の限りないご活躍と健康を心よりお祈り申し上げ、送辞いたします。

在校生代表 高橋舞圭



答辞

(抜粋) 卒業生の皆さん。毎日みんなと会って教室で笑い合い、一緒に過ごす日々には終わりは無いと思っていましたが、今日は卒業式。

今この瞬間。この場に立っていてさえ、卒業という実感がわかりません。通いなれた校舎も学校から見えた夕焼けも、にぎやかだった教室も今日でお別れです。

これからそれぞれの場所で過ごすこととなりますが、私たちの絆はこれからも続いていきます。私はこの宇宙一最高な三年一組が大好きです。いままで九年間本当にありがとう。

私たち一人一人がそれぞれの道を切り拓き、一歩ずつ新たな未来へ進んでいきましょう。最後になりましたが、金ヶ瀬中学校の卒業生としての誇りを持ち、夢に向かって歩いていくことを誓います。

私たちのために素晴らしい卒業式を行ってくださったすべての方々に心より感謝し、皆様の御健康と



多幸をお祈りして答辞とさせていただきます。
歩夢

第七十四回卒業生代表 関谷

修了式

本日、令和2年度修了式を行いました。1年1組から学級任が一人一人

呼名し、代表生徒が登壇し、校長先生から修了証を授与されました。1年1組代表は山崎楓和さん。1年2組代表は内池遥陽君。2年1組代表は山本佳奈さん。2年2組代表は平山希空君が務めました。

校長先生が式辞で1年間の頑張りを讃え、来年度に期待することを話されました。続いて生徒所感発表があり、1学年は只石結愛さんが、2学年は松浦宇君がそれぞれ学習面や生活面、部活動について1年間の振り返り、来年度への抱負をしっかりと発表しました。

修了式後には校内書きぞめ展、県書きぞめ展の表彰と図書室から多くの本を借りた人への、「ベストリーダー賞」、1年間自学を頑張った人への「自学パーフェクト賞」の表彰を行いました。おめでとうございます。



未来に向かって～東日本大震災から10年～

東日本大震災から10年の節目にあたり、追悼集会を行いました。地震の発生した14時46分に合わせて黙祷を捧げ、教頭が気仙沼で経験したことを話しました。その後、みやぎ防災教育副読本「未来への絆」から、「気仙沼市立階上中学校卒業生代表の言葉」の朗読を佐藤颯音君が、「震災を経験して」の朗読を高橋舞佳さんが行いました。2月13日(土)に大きな地震があったばかりなので、生徒たちも自然災害の恐ろしさについて改めて気付き、防災や普段の備えの大切さについて真剣に考えていました。



マナーや礼儀の大切さを学びました

3月18日(木)、総合的な学習の時間に、1・2年生を対象に秋保温泉ホテル華之湯の女将佐藤恵里様をお迎えし、「接客の心構え



～おもてなしの精神～」と題して講話をいただきました。

笑顔の大切さや人との接し方などさまざまなことを教えていただきました。お辞儀の仕方

も学んだので、今後の生活に生かすことができると思います。

保護者の皆様へ

先日の学年PTAに多数の参加をいただき、ありがとうございました。その後のPTA本部役員会も無事に終了することができました。御協力に感謝いたします。

本日、無事に令和2年度修了式を行うことができました。来年度も新型コロナウイルス感染症への対策を万全に行いながら教育活動を進めていきますので、保護者の皆様のさらなる御理解と御協力をお願いいたします。

近年、自転車事故が増えたことにより、宮城県では、4月1日より自転車損害賠償保険等への加入が義務化されます。学年PTAの資料にもパンフレットがありますので、お早めに加入願います。